

# 陸平通信

OKADAIRA 2013年3月1日発行  
編集・発行 / 茨城県稲敷郡美浦村土浦 2359  
美浦村文化財センター (陸平研究所)  
☎ 029-886-0291 FAX 029-886-0471  
Eメール :bunkazai@vill.miho.lg.jp

陸平縄文フォーラム '13



## 陸平縄文人の食生活を探る!



～住民参加による陸平貝塚確認調査の成果発表～



縄文人は食材を土器でどう調理していたのか…

ハマグリにウナギタイやスズキ…。縄文人は美味しいものを食べてたのね

霞ヶ浦周辺の遺跡はウナギの骨がとて多いことがわかってきました

陸平縄文人を知るにはもっと当時の人骨が必要だ…

**陸平発掘井**  
住民有志の中から発案された陸平発掘井が地元のお店の協力により試作されました。発掘気分为上から順に食べていくとさまざまな具材がでできます。



パネルディスカッションの様子

さる2月23日(土)美浦村中央公民館において、「陸平縄文フォーラム '13 陸平縄文人の食生活を探る」が開催されました。考古学者と現代の料理研究家とが陸平貝塚から出土した貝や骨などのデータをもとに、陸平縄文人の食生活に迫りました。



**樋泉岳二さん**  
貝や骨にとっても詳しい考古学者。陸平貝塚から出土した貝や骨から霞ヶ浦とともに暮らした縄文人の様子がわかりました。陸平貝塚やその周辺では、他の地域に比べてウナギをたくさん食べていたようです。“ウナギの陸平”

**中川一恵さん**  
郷土の食文化にも造詣の深い料理研究家。茨城の郷土食についてお話されました。茨城は魚を使った料理が多いようです。陸平発掘井の開発にも関わっていただきました。

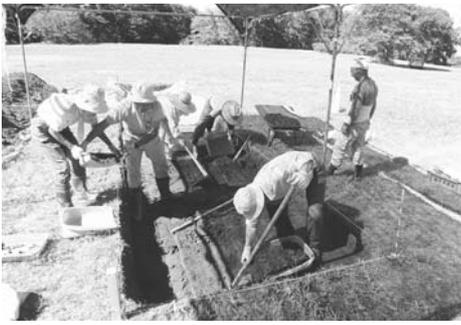


**阿部芳郎さん**  
縄文時代のことにとても詳しい考古学者です。パネルディスカッションで発表者の皆さんと縄文人の食生活についてトーク。

**吉田邦夫さん**  
私たちの体は食べることで肉や骨が作られています。出土した人骨の科学的な分析を通して当時の人々の食生活に迫りました。もっと陸平縄文人の人骨を見つけてほしい!



安中地区にある国史跡陸平貝塚は平成20年度から10ヵ年計画で住民参加による確認調査を行っています。今年度はその5年目にあたることから中間成果報告として2月23日(土)に陸平縄文フォーラム13を開催しました。陸平貝塚確認調査では発掘調査実施の翌年に出土資料の整理と報告書を刊行し調査の成果をまとめてきました。昨夏に行った発掘調査については平成25年度に調査の成果をまとめる予定です。これまで3回行った発掘調査で、貝とともに貝塚の中に残されている動物や魚など骨類の資料を沢山得ることができ、陸平縄文人の食生活に関わる多くの情報が蓄積されてきています。フォーラムでは「食」をテーマに、調査に関わっていた



陸平貝塚発掘調査(平成24年8月)



オープニングを飾った縄文太鼓

いる考古学者や料理研究家の方々と陸平縄文人の食生活を探ってみました。会場では縄文クッキーの紹介や住民参加の陸平貝塚確認調査、陸平発掘ワークショップなどのパネル展示も行いました。陸平縄文太鼓保存会による縄文太鼓の演奏で始まったフォーラムは、最初に陸平貝塚の紹介(制作ビデオ)や確認調査についての説明を、続いて、考古学者や料理研究家の方々3名の講演、パネルディスカッションを行いました。



ロビーでの展示を見学している様子

るようになることなど興味深い内容でした。吉田邦夫氏(東京大学総合研究博物館)は「人骨分析からみた陸平縄文人の食生活」と題して、人骨そのものを科学的に分析することを通して当時の人の食生活にせまる話でした。陸平貝塚から出土している人骨が少ないため、今後の調査で人骨が出土することを期待しているとのコメントもありました。料理研究家で知られている中川一恵氏(中川学園調理技術専門学校)には、今回「食」がテーマということからご参加いただき、「茨城の郷土食」についてお話ししていただきました。郷土食はその土地柄や歴史が反映されますが、茨城は全体的に魚を使った料理が多い傾向があるとの話をされました。



陸平発掘井のワークショップ

パネルディスカッションでは阿部芳郎氏(明治大学)をコーディネーターにお迎えして「縄文の食生活と郷土食」をテーマに行いました。フォーラムにあわせて試作した陸平発掘井は住民有志の中からでたアイデアをもとに数回のワークショップや試作などを経て、陸平貝塚発掘のイメージを井の形で表したものです。陸平をヨイシヨする会、美浦村食生活改善推進員連絡協議会の協力を得、中川一恵氏にもアドバイスをいただきました。当日は村内もとより県外からも陸平貝塚の調査に関心を寄せる多くの方が会場を訪れていました。フォーラムの様子や陸平発掘井については、当日夕方のNHKニュースでも紹介されました。



展示の様子  
(陸平をヨイシヨする会の縄文食研究紹介コーナー)

またフォーラムに先立ち2月17日(日)には明治大学(東京都)においてシンポジウム「陸平と上高津」縄文の資源利用と地域社会」が開催されました(共催:美浦村教育委員会ほか)。霞ヶ浦沿岸の貝塚である陸平貝塚と上高津貝塚(土浦市)の調査成果を中心に、東京湾沿岸の貝塚とは異なる地域的特徴を明らかにしようとして縄文人がさまざまな資源をどのように利用していたのかということについて発表や議論がなされました。陸平貝塚については村学芸員が遺跡の活用等と合わせて発表しました。パネル展示は文化財センターでも引き続きおこなうほか、今年度制作した陸平貝塚の紹介ビデオも見ることができ

## 味噌作り体験!

さる1月25日、味噌作り体験を行いました。美浦村産の大豆や麴はじめ塩など天然素材のみで作る味噌は市販のものとは溶けやすさが違うそうです。半日以上コトコトとやわらかく煮込んだ大豆で仕込んだ味噌は約10カ月間寝かせてから樽をあける予定です。美浦村食生活改善推進員連絡協議会の皆さんには大豆についてのお話もしていただきました。美味しい味噌が出来上がる日が今から待ち遠しいですね!



①大豆をやわらかくなるまで煮ます。



②煮て潰した大豆と麴、塩を合わせてよく混ぜ合わせます。



③団子状に丸め、樽に空気が入らないように詰めていきます。最後に重石を置いて寝かせます。



## はたおり体験!

昔使われていたはたおり機で織りの体験が行われました。文化財センターで例年夏休みに行っている裂き織り体験では裂いた布を横糸に入れますが、今回は糸を入れて生地を織りました。裂いた布と異なり糸ではなかなか織り進みませんが、参加された方は楽しくトントンと織っていました。3月には織った布をおしゃれなカフェエプロンに仕立てます。



## 縄文の森コンサートを開催しました

1月20日、陸平をヨイショする会主催による第15回縄文の森コンサートが美浦村中央公民館大ホールにて開催されました。オープニングを飾ったのは安中小学校縄文太鼓クラブの児童による組曲「陸平」の演奏。続いては千葉県香取市を主な活動拠点とするYAMADA 星太鼓による演奏です。太鼓と芸能の組み合わせによるユーモア溢れる演出で観衆の笑いを誘いました。今回のメインは長野県で活躍されている太鼓パフォーマンスチーム DAUTO (ダウト)。迫力ある演奏とアクロバティックなパフォーマンスで、従来の太鼓のイメージを打ち破る、聴いて見て楽しめる素晴らしい舞台上で、観客を十二分に魅了させてくれました。会場は盛大な拍手で包まれました。



安中小学校縄文太鼓クラブ

YAMADA 星太鼓



DAUTO (ダウト)

## 美浦村の地名7

### 八井田・堀田・中野内・山内地区

霞ヶ浦の湖岸に面している八井田・堀田・中野内・山内の4つの地区は北に霞ヶ浦、東に根火地区、西に谷中・大塚地区、南に山王地区に囲まれた位置にあります。この地区はかつて八井田五ヶ村といわれ、辻村、稲子田村、堀田村、中野内村、正慶村でしたが、近世初期までには辻村が山内村にかわり、稲子田村は八井田村の小字となりました。そして幕末の頃には正慶村は八井田村に加わりました。八井田・堀田・中野内・山内地区にみられる小字名をみてみましょう。

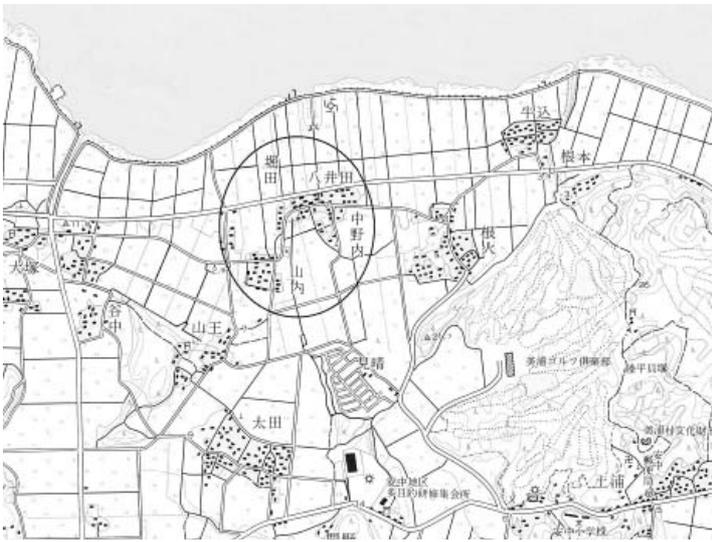
隣接する地区に関連する名称として、八井田地区では根火坂、堀田地区では山内前、山内舟戸、山内後、中野内地区では山内前町、山内南町、山内地区では山王後、山王前、山王下、山王山、根火前、根火道など、隣接する地区との位置関係などを表していると思われる名称がみられます。

また、信仰と関わりがあると思われる名称には、八井田地区では薬師後、薬師前、権現後、宮久保前、堀田地区では稲荷前、大塚前、弁天下、和光院後、塚下、中野内地区では観音堂、権現、熊野社、不動峯、宮後、塚下、山内地区では観音堂、観音堂道、人形塚、花見塚下、塚下などがあります。こうした名称からは、かつて塚や寺があったことが伺えます。ほかに地形を表している名称には、窪地を示す久保、八牧久保、芋ノ葉久保、中坪、原ノ坪、伊勢坪、谷を示す谷津、馬掛谷津、蔵

後谷津などがみられます。

中野内地区や山内地区には二本松という名称があります。かつて何か目印になるような松があったのかもしれない。

また、この地域は分布調査により山内・八井田集落とほぼ重なる範囲で中世の遺跡が確認されています(山内入堀遺跡)。発掘調査を行っていないため詳しいことはわかりませんが、畑から土師器や陶器などが採集されているほかに、堀の跡や土塁なども確認されています。北門、後口、前口、古屋敷、南門、根本内、輪ノ内、表口、新堀、入堀など中世の城館や堀などによくみられる名称も残されています。



## 梅朝基礎落語

みてほんわか寄席などでおなじみの好文亭梅朝さんが落語とともに落語にまつわるお話をします。落語について知ったらもっと落語を楽しめることうけあいです。

落語は江戸時代から続く伝統あるすばらしい日本の話芸です。どうぞお誘いあわせてご参加下さい。



好文亭梅朝さん

**日にち** 3月9日(土)  
**時間** 午後1時30分~午後3時30分  
**場所** 美浦村文化財センター  
聴講講座です。入場無料  
※当日時間までにお越し下さい。

## 文化財めぐり

小澤家住宅や狛犬、古墳、板碑など村内の文化財を見てまわります。

**日にち** 3月22日(金) 午前9時~12時

**集合場所** 美浦村文化財センター

**募集人数** 16名

事前に申し込みが必要です。☎ 886-0291

